

家庭訪問型子育て支援 「ホームスタート・まんま」 2021年度 活動報告会

日 時： 2022年6月28日（火）10時30分～12時

会 場： 豊橋市総合福祉センター・あイトピア3F研修室

報告会 次第

- ① ホームスタートとは
- ② ホームビジター体験発表
- ③ ホームスタート利用者体験発表
- ④ ホームスタート・まんま 活動報告
- ⑤ ホームスタート全国・愛知県での展開



主催：特定非営利活動法人NPOまんま

〒441-8108 愛知県豊橋市町畑町森田 45-23

Tel&Fax:0532-48-1203

ホームスタートへの期待

～行政、トラスティのみなさま～

愛知県福祉局子育て支援課 担当課長 入木 真実

「ホームスタート」は、子育て経験のあるボランティアによる家庭訪問型支援のしくみです。オーガナイザー研修やホームビジター研修の内容は、非常に専門的であり、適切に対応するための手法を徹底的に学ぶことが、利用者のエンパワーメントを引き上げるとともに、ホームビジター自身の安全を守ることに繋がるものです。

ホームビジターとなるためには、延べ40時間・8日間の研修を受けていただくことになり大変とは思いますが、修了される時には、自信を持って、専門的な知見で、対応することができるようになってきているものと思います。

ホームビジターの質が担保され、オーガナイザーによるマネジメントを受けながら支援ができるということは、行政と子育て支援団体とが協働して地域の子育て支援に関わる上でも、とても重要になってきます。

「ホームスタート」という家庭訪問型支援のしくみが、地域住民の皆様の方で構築され、地域の子育て支援力の向上につながることに、大いに期待するものであります。

NPO まんまは、県内で1番早くから「ホームスタート」に取り組んでいただいております。今後も、他の地域の子育て支援団体の模範となって、御活躍いただきますことを祈念いたします。

豊橋市子ども未来部 子ども若者総合相談支援センター
愛称"ココエール" 副センター長 北村 充

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」については、貴団体が愛知県内でいち早く取り組みを開始され、年々利用実績を伸ばしながら、ボランティアのビジターも着実に増やしています。その経験を活かしながら、県内で「ホームスタート」の実施団体を広める事業にもご尽力いただき、心から敬意を表します。

本市だけに限らず、全国的にも少子化により子育て家庭が減少し、加えてコロナ禍で社会活動の制限が余儀なくされる状況も続く中、子育て家庭や子どもへの様々な影響が懸念されていますが、その一方で人と人とのつながりが大きな意味を持つことの重要性も再認識されています。

「ホームスタート」には、支え・支えられる関係の循環があり、地域共生社会の実現に向け、誰もが役割と生きがいを持てる地域づくりに資する活動でもあります。子ども若者総合相談支援センターココエールでは、子育て家庭や子どもを取り巻く課題解決のため、「行政か民間か」の縦割りではなく、「行政も民間も」の連携・協働を引き続き進めていきたいと考えています。

今後も「ホームスタート」等を通じた貴団体のますますのご活躍を心から期待しております。

ホームスタートへの期待

～行政、トラスティのみなさま～

幼保連携型こども園明照保育園
園長 中島 章裕

「ホームスタート・まんま」のトラスティになって10年近くになります。

本園では、昔から子育て支援を重視してきました。保護者の心の安定こそが子どもの心の安定につながると考えていたからです。一方、園庭開放や子育て広場に来てくださるたくさんの親子を見ていると、「ここに来られない親子もいるのでは？」という思いも持っていました。そんな人たちに園で出来ることはないのか？と模索しているときに「ホームスタート・まんま」の活動を知る機会があり、お手伝いをさせてもらうことになりました。

家庭訪問による子育て支援は、地域のつながりが薄くなり、親が孤立して子育てをせざるを得ないときなどに心の支えになります。子育ての悩みを聞いてくれ、寄り添ってくれる人がいるだけで忘れていた笑顔を 取り戻す親がいます。「頑張りすぎなくても大丈夫ですよ！」というビジターさんの一言で、子育てに 前向きになれる親がいます。

特にこの二年半にも及ぶコロナ禍では、孤立してしまった親子が多数出てしまい、虐待件数も増えています。子育て広場等に出かけづらい親子や専門機関に支援を受けるほど重篤ではないけれど、ストレスを感じている親たちに、この活動は笑顔を 取り戻す機会を与えていると思います。

～期待に応えられるように～

特定非営利活動法人NPOまんま
代表理事 長田 真理子

愛知県の『あいち はぐみんプラン 2020-2024』（第四次愛知県少子化対策推進基本計画）の基本目標には、「県民が家庭を築き、安心して子どもを産み育てることができる社会の実現」とあり、策定の基本的な考え方の中には「隣近所の子どもの世話や、子育ての手助けをする場面も少なくなっており、地域で子育てをするという意識が低くなっていることもうかがえます。子育ては地域と切り離せないものであり、地域社会全体で子育てに温かい環境を作っていくことが重要です。」とあります。そして、60ページには、県は、子育てに不安を持つ家庭や多胎育児家庭などに対し、子育てによる孤立感や不安の軽減を図るため、ボランティアによる家庭訪問型子育て支援を行う「ホームスタート*6」の仕組みを県内に広げることで、地域の子育て支援力の向上を目指します。とあり、ホームスタートのボランティアによる、地域での子育て力の底上げへの期待を感じています。

期待に応えられるよう、愛知県内のホームスタートの普及と充実した活動を発足した『愛知県ホームスタート推進協議会』の一員としても努力していきたいと思っています。